

令和8年度 国語科 年間指導計画 第1学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	きこえるよ	2	言葉の響きやリズムを楽しみながら、友達といっしょに声を出すことができる。	
		よろしくね	1	伝え合うために必要なことを選び、自己紹介を友達と楽しむことができる。	生活、図画工作
		たのしくかこう	1	書きやすい姿勢や鉛筆の持ち方を知り、楽しく運筆をすることができる。	
		なんていうのかな	2	人と関わるときに大切な言葉を知り、使うことができる。	
		こえをとどけよう	1	場面に応じた声の大きさがあることを知り、活用することができる。	
		もじをかこう	1	平仮名を読んだり書いたりし、文字や言葉への関心をもつことができる。	書写
		あいうえおのうた	2	姿勢や口形、発声や発音に注意して声を出し、音読することができる。	
		あいうえおのこばをあつめよう	3	音節と文字との関係に気づき、「あ」「い」「う」「え」「お」のつく言葉を身の回りから集めることができる。	
		ほんがたくさん	2	読み聞かせなどを聞き、読書に興味をもって、本に親しむことができる。	
	5	あめですよ	4	絵と言葉を結び付けて、場面や人物の様子を思い浮かべ、語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけながら音読を楽しむことができる。	
		ふたとぶた	2	清音、濁音、半濁音の表記と音の違いを理解して、平仮名を読んだり書いたりすることができる。	
		みんなにはなそう	4	紹介したい事柄を決め、相手に聞こえるように話すことができる。	生活、図画工作
		ぶんをつくろう	2	主語と述語との関係に気づき、助詞の「が」を使った文を作ることができる。	
		とんこととん	5	場面の様子や人物の行動などの内容の大体を捉え、音読を楽しむことができる。	
		はをつかおう	1	助詞の「は」の使い方を理解し、助詞の「は」を正しく使って文を作ることができる。	
		さとうとしお	5	事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉え、分かったことを伝え合うことができる。	
		をへをつかおう	2	助詞「を」「へ」の使い方を理解して、一文の意味が明確になるように文を書くことができる。	
	6	きいてつたえよう	2	話し手が知らせたいことを落とさないように集中して聞き、グループの友達に正しく伝えることができる。	
		ねことねっこ	2	促音の表記と音節の対応を理解し、促音表記の平仮名を読んだり書いたりすることができる。	
		こばあそび	3	言葉遊びに親しみながら、平仮名を読んだり書いたりすることができる。	
		あひるのあくび	3	音節と文字との関係などに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意し、詩を音読したり五十音図を声に出したりすることができる。	
		のばすおん	2	長音の表記と音節の対応を理解し、長音表記の平仮名を読んだり書いたりすることができる。	
		どうやってみをまもるのかな	7	事柄の順序を考えながら内容の大体を捉え、分かったことを伝え合うことができる。	
		いしやといしや	2	拗音、拗長音及び拗促音の表記と音節の対応を理解して、拗音、拗長音及び拗促音表記の平仮名を読んだり書いたりすることができる。	
		こんなことしたよ	6	語と語や文と文との続き方に注意し、経験したことを伝える文章を書くことができる。	
	7	おおきなかぶ	7	場面の様子や登場人物の行動などの内容の大体を捉え、音読を楽しむことができる。	
		としょかんはどんなどころ	1	学校図書館を利用して読書に親しみ、図書館を活用することができる。	
		こばあそびうたをつくろう	5	身の回りのものの音や様子を表す言葉を見つけ、言葉遊び歌を作ることができる。	
		かたかなをみつけよう	2	片仮名で書く言葉を見つけ、片仮名を読んだり書いたりすることができる。	
		えにっきをかこう	6	伝えたいことを明確にして必要な事柄を集め、絵日記を書くことができる。	図画工作
	8・9	あるけあるけ／き	3	場面の様子などの内容の大体を捉え、語のまとまりや言葉の響きを楽しみながら音読することができる。	
		はなしたいなききたいな	5	伝えたい話題を決めて必要な事柄を選び、夏休みに経験したことを伝え合うことができる。	
		かぞえうた	6	数詞や漢数字の使い方を理解し、「かぞえうた」を作ろうとしている。	算数
		かいがら	7	場面の様子や登場人物の行動などの内容の大体を捉え、登場人物になったつもりで演じることができる。	
		かんじのはなし	6	漢字の成り立ちを理解し、学習した漢字を使った文を考えることができる。	
	9・10	おはなしをよもう「サラダでげんき」	10	誰が出てきて、どんなことをしたかを確かめながら読むことができる。	
10	かたかなをかこう	3	身近なものから片仮名で書く言葉を集めて、正しく読んだり書いたりすることができる。		

	1	一ねんせいのほんだな	2	読書に親しみ、多様な本を選んだり読んだりすることができる。	
後期	10	なにに見えるかな	6	思ったことを話したり聞いたりして、楽しく話をつなぐことができる。	
		よう日と日づけ	3	曜日と日付を表す言葉を理解し、漢字を使って正しく読み書きすることができる。	
		はっけんしたよ	10	物の様子をよく見て、文章を書くことができる。	
		ひらがなをつかおう 1	1	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して、平仮名を文の中で正しく使うことができる。	
	10・11	ふねのせつめいをよもう「いろいろなふね」	8	いろいろな船の、役目と造りを考えることができる。	
	11	「のりものカード」をつくろう	8	知りたいことについて本で調べて、「のりものカード」を作ることができる。	
		まとめてよぶことば	3	意味による語句のまとまりや、まとめて呼ぶ言葉を理解して、語彙を豊かにすることができる。	
		すきなきょうかをはなそう	5	声の大きさや話す速さに気をつけて話すことができる。	
		ことばであそぼう	2	言葉遊びを通して言葉の豊かさに気づくことができる。	
		おもい出しかこう	11	順序に気をつけて、したことを伝える文章を書くことができる。	生活
		ひらがなをつかおう 2	1	絵に合うように、平仮名を正しく書くことができる。	
	11・12	こえに出してよもう「おとうとねずみチロ」	10	人物の様子を思い浮かべながら、お話を声に出して読むことができる。	
	12	すきなおはなしはなにかな	6	読書に親しみ、好きな物語を読んで感じたことを共有することができる。	
		かん字をつかおう 1	1	文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。	
	1	みみずのたいそう	2	詩の内容の大体を捉えて、語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。	
		おかしばなしをたのしもう	5	昔話に親しみ、おもしろいと思ったところを紹介し合うことができる。	
		おはなしをかこう	11	お話に出てくる人物を考えて、自分だけのお話を書くことができる。	
		かたかなのかたち	3	字形の似た文字との違いに注意しながら、片仮名の言葉を文の中で使うことができる。	
		かん字をつかおう 2	1	文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。	
	1・2	ちがいをかんがえよう「子どもをまもろうぶつたち」	11	子どもの守り方の違いを、比べて考える。	道徳
	2	ことばをあつめよう	3	意味による語句のまとまりを意識しながら言葉を集め、文の中で使うことができる。	
		小学校のことをしょうかいしよう	8	一年間の出来事を順に話して、小学校のことを紹介することができる。	生活
		かん字をつかおう 3	1	文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。	
2・3	すきなところをつたえよう「スイミー」	12	物語の好きなところを見つけて、好きなわけを伝え合うことができる。		
3	かたちのにているかん字	3	漢字の字形を理解し、正しく読み書きすることができる。		
	かん字をつかおう 4	1	文の内容に沿って漢字を正しく書くことができる。		
	一年かんのおもいでブック	10	いちばん心に残っている出来事について、家の人に伝える文章を書くことができる。	体育	
年間授業時数			276		